

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-433		
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp				
部分開口 構造用合板補強工法 真壁「上下あき」裏棧なし					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会					
					実験実施機関 :名古屋工業大学					
概要	技術概要 真壁で梁及び土台と面材を接合せず、床天井間のみを構造用合板で補強する工法。									
	技術の特徴						コスト			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>天井・床を解体することなく補強が可能</li> <li>壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能</li> <li>一般流通品なので取り扱いが容易</li> </ul>						サンプル構面		13,410 円/kN	
					設計見積り例		—			
適用範囲					写真・図					
構法		木造在来軸組工法								
規模		3階建て以下								
基礎、地盤		特になし								
適用部位		内外壁								
耐震性能										
評価仕様:真壁仕様										
壁基準耐力		壁基準剛性								
4.16kN/m		584kN/rad./m								
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.8$										
壁基準耐力 $5.2 \times 0.8 = 4.16$										
設計方法										
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること										
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること										
施工者指定										
特になし										
主要構成部材の仕様										
仕様	構造用合板		真壁、厚 12mm、縦使い、各高さ 400mm 以上							
			釘 N50、CN50、@100mm 以下、川の字打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下							
	間柱		なし							
	継手受材		なし							
	上下受材		なし							
	四方受材		〈縦〉 奥行 30×見付 40mm 以上、釘 N75 @150mm 以下、または N90 @200mm 以下							
	下地材		なし							
	アルミアングル		なし							
	かさ上げ材		なし							
その他										